

《京都》御所と離宮の葉(おり)



其の一

ご挨拶

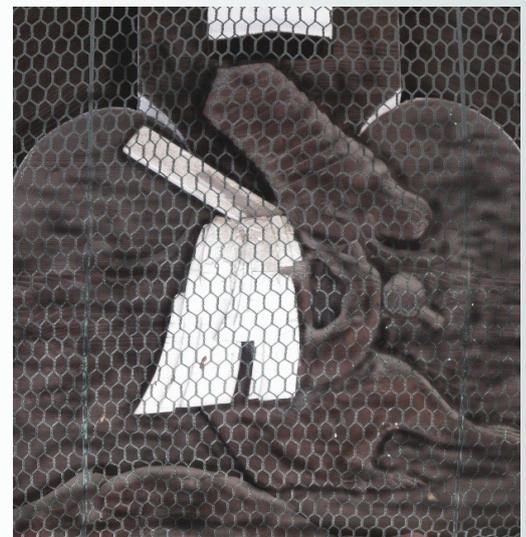
宮内庁では京都御所、京都大宮御所・仙洞御所、桂離宮、修学院離宮を管理していますが、これら御所と離宮には古くより積み重ねられてきた豊かな文化がちりばめられています。大切に伝えられてきたその文化の一端をこのページで逐次紹介したいと思います。

— 京都御所 —

猿ヶ辻(さるがっじ)



京都御所の東北角 猿ヶ辻



京都御所は南北に長い長方形をしており、周囲を築地塀が巡っていますが、鬼門の方角に当たる北東の角には欠き込みを造り、さらに軒下には災い除けの木彫りの猿があります。そのためこの辺りを猿ヶ辻といいます。金網が張られていますが、猿が夜にぬけ出していたずらをするので、封じ込めたものとか・・・。

現在の猿ヶ辻は慶応2年に御所の敷地が拡張された際に今の位置になりました。それまではもう少し西側の朔平門寄りにありました。

金網越しの猿は見えにくいですが、右の写真のように、えぼし烏帽子を被り、御幣をかついでいます。

 マークは、御所・離宮の外側から、いつでもご覧になれます。

 マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、[参観要領 - 京都御所 \(kunaicho.go.jp\)](http://kunaicho.go.jp) をご覧ください。

 マークは、春と秋には申込みが必要のない一般公開の際にご覧になれます。下記にて日程等をご確認ください。 [特別公開など - 宮内庁 \(kunaicho.go.jp\)](http://kunaicho.go.jp)

 マークは、通常公開していない場所にあります。